



西田俊英 **不死鳥**
Shunei Nishida — Phoenix

2023
10/23^①—11/19^②

会場 | 武蔵野美術大学 美術館展示室2・3、アトリウム2
時 間 | 11:00—19:00 (土・日曜日、祝日、10月27日[金]は10:00—17:00)
休館日 | 水曜日 入館料 | 無料

主 催 | 武蔵野美術大学 美術館・図書館
協 力 | 武蔵野美術大学造形学部日本画学科研究室

武蔵野美術大学 美術館・図書館

〒187-8505 東京都小平市小川町1-736
Tel:042-342-6003 <https://mauml.musabi.ac.jp/museum/>
X(旧Twitter)、Instagram: @mau_m_1

「不死鳥」より
「第二章 太古からの森」[部分]2022-23年、紙本・油彩
高さ:205.0cm 全幅:700.0cmを目標し、制作継続中。個人蔵

MUUM&L
Musashino Art University Museum & Library



《きさらぎの月》2005年 紙本・着彩 182.0×332.0cm 個人蔵



《星夜傑々》2001年 紙本・着彩 182.0×364.0cm 郷さくら美術館蔵



《不死鳥》より「第一章 生命の根源」【部分】2022-23年 紙本・着彩 高さ:205.0cm・全長:7000.0cmを指し、制作継続中 個人蔵

現代日本画壇を牽引する作家である西田俊英は、湿潤な日本の風土やヨーロッパの街並みを捉えた風景画、現代的な新たな花鳥画、インド留学が転換期となり描きはじめた人物画など様々な題材に果敢に挑戦し続けています。確固たる技法に裏付けられた幻想的な空間表現。日本画の精神性を重んじ、崇高な物語の漂う、新しい表現を追求しています。

完成すれば縦2.05メートル、全長70メートルに達する巨大日本画《不死鳥》。人間と自然の森との共生、尽きることのない生命の循環の物語を紡ぐため、西田は2022年から1年間屋久島に移住し、日々山にわけいって写生を繰り返しました。本展では、この前人未到ともいえる作品を核に、西田の原点となる少年時代の作品から、インド留学を経て、森羅万象を神とする日本人の心で、風景や動物、人物や花を愛情深く精緻な筆致で描いてきた27点の作品を通し、50年におよぶ画業の軌跡を追います。



《月窓》2014年 紙本・着彩 182.0×364.0cm 個人蔵



《ゼウス風に立つ》2020年 紙本・着彩 125.0×81.0cm 個人蔵

西田俊英

不死鳥

Shunei Nishida Phoenix



《華鬘》1983年 紙本・着彩 150.0×162.0cm 山種美術館蔵

西田俊英(にしだしゅんえい)

1953年三重県伊勢市生まれ。中学から油絵を学び、高校卒業後に日本画に転向。73年武蔵野美術大学造形学部日本画学科に入学し、奥村土牛、塩出英雄に師事。在学中の75年再興第60回院展初入選、83年第7回山種美術館賞展優秀賞、84年第4回東京セントラル美術館日本画大賞展大賞受賞。93年から1年間、文化庁在外研修員としてインド留学。以降再興院展を中心に研鑽を重ね、95年日本美術院賞(大観賞)・第1回足立美術館賞、96年奨励賞・第2回天心記念茨城賞、97年日本美術院賞(大観賞)、2002年文部科学大臣賞、05年内閣総理大臣賞、06年第12回足立美術館賞、12年第18回MOA岡田茂吉賞絵画部門大賞、14年第10回春の足立美術館賞、17年日本芸術院賞など多数受賞。現在は日本芸術院会員、日本美術院同人・理事、武蔵野美術大学造形学部日本画学科教授、広島市立大学名誉教授。

【アクセス】

- 西武国分寺線「鷹の台」駅下車、徒歩18分
 - JR中央線「国分寺」駅北口4番停留所より西武バス「武蔵野美術大学」行または「小平営業所」行に乗り、「武蔵野美術大学正門」停留所下車(バス所要時間:約25分)
 - JR中央線「立川」駅北口5番停留所より立川バス「武蔵野美術大学」行に乗り、「武蔵野美術大学」停留所下車(バス所要時間:約25分)
- ※お車でのご来場はご遠慮ください。



武蔵野美術大学 美術館・図書館

〒187-8505 東京都小平市小川町1-736
Tel: 042-342-6003

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/>
X(旧Twitter)、Instagram: @mau_m_1

■関連イベント

特別対談★

日時:10月23日(月)
15:00-16:30

出演:土方明司
(川崎市岡本太郎美術館館長/
武蔵野美術大学客員教授)
西田俊英

会場:美術館ホール

特別鼎談★

日時:11月6日(月)
16:40-18:00

出演:野地耕一郎
(泉屋博古館東京館長)
土屋禮一
(日本画家/金沢美術工芸大学名誉教授)
西田俊英

会場:美術館ホール

★参加方法:入場無料|先着順(予約不要)
直接会場へお越しください。

